

令和3年度病害虫発生予察注意報第4号

令和3年7月2日
愛知県

作物名：ナシ
病害虫名：黒星病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

(1) 本病の果実への発生状況

6月下旬の巡回調査（21 ほ場）において、発病果率は2.1%（平年0.5%、前年0.3%）、発生ほ場率は47.6%（平年19.1%、前年25.0%）であり（図1左）、いずれも過去10年間と比較して最も高い。

(2) 本病の葉への発生状況

6月下旬の巡回調査（32 ほ場）において、発病葉率は2.7%（平年1.2%、前年0.6%）、発生ほ場率は59.4%（平年36.3%、前年15.6%）であり（図1右）、いずれも過去10年間と比較して最も高い。

(3) 今後の気象条件

名古屋地方气象台7月1日発表の1か月予報では、期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想され、本病の発生に好適な条件である。

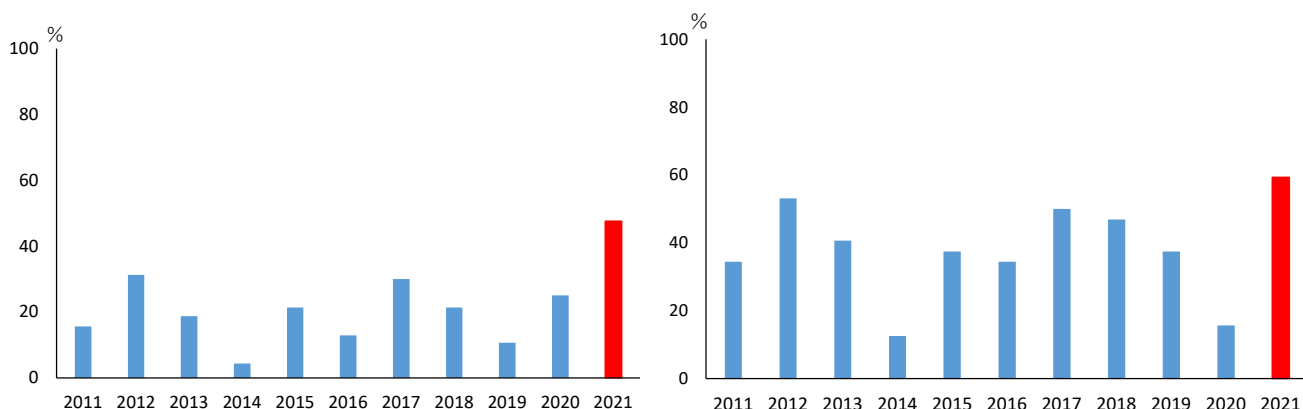


図1 6月下旬調査におけるナシ黒星病の発生ほ場率（左：果実、右：葉）

4 防除上注意すべき事項

- (1) 発病した葉や果実（図2及び3）は伝染源になるので、見つけ次第取り除き、ほ場外へ持ち出して適切に処分する。
- (2) 本病は雨天が続くと蔓延するので、雨が予想される場合は表を参考に薬剤散布する。なお、薬剤耐性菌の発生を防ぐため、同一系統薬剤（特にDMI剤、FRACコード：3）の連用は避ける。
- (3) スピードスプレーヤーで防除する場合は、ほ場のすみなどの薬剤がかかりにくい場所は手で散布するなどして、かけ残しがないよう注意する。



図2 果実における発病



図3 葉（葉柄）における発病

表 ナシ黒星病に対する主な防除薬剤

薬剤名	成分名	使用時期	本剤の使用回数	FRACコード
ベルコートフロアブル	イミノクタジンアルベシル酸塩	収穫14日前まで	5回以内	M7
スコア顆粒水和剤	ジフェノコナゾール	収穫14日前まで	3回以内	3
アンビルフロアブル	ヘキサコナゾール	収穫7日前まで	3回以内	3
スクレアフロアブル	マンデストロビン	収穫前日まで	3回以内	11
ナリアWDG	ピラクロストロビン、 ボスカリド	収穫前日まで	3回以内	11、7
フルーツセイバー	ベンチオピラド	収穫前日まで	3回以内	7

成分ごとの総使用回数に注意する。

FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は https://www.jcpa.or.jp/labo/jfrac/pdf/code_pdf01_2021.pdf を参照する。

薬剤の使用に当たってはラベルの表示事項を守るとともに他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室

電話 0561-62-0085 内線471